

「研究テーマ」

授業を通して新聞に興味・関心を持つ児童の育成を目指す

加古川市立陵北小学校 教諭 釜江 亮徳

1、はじめに

本校は「自ら学び続け、健康で心豊かな陵北っ子の育成~共に支え合い励まし合っ
て楽しく生活する子~」を学校教育目標掲げ、
よく学び、心豊かなたくましい子どもの育
成を目指している。

本校の児童は、新聞を毎日読んでいると
答えた児童は多くいなかった。また、読ん
でいると答えた児童も、興味を持っている
出来事について、例えば、スポーツや芸能
やテレビ欄のことはよく知ってはいるが、
政治や経済のことはあまり興味がなく、知
らないことが多い。

そこで、今年度のN I E活動の目標を「新
聞に興味を持ち、進んで新聞を手に取り、
自分の興味のある出来事を上手に相手に伝
えることができる児童の育成」とした。

2、実践にあたって

①「研究対象」

5年生、6年生。5年生を研究対象とし
た理由は、算数科の「割合」の単元で新聞
を使った授業を行いたいと考えた為である。
また、国語科の「わたしのとおきの一
枚」の単元では、自分の気に入った写真を
紹介する授業であり、その単元の前段階と
してN I E活動を行うことにした為である。

6年生は総合的な活動の時間に行った。
記者の方に来ていただき、講演をしていた
だいた。

②実践期間は、冬季休業がある12月を外
して10月、11月、1月、2月の4ヶ月を設
定した。

③新聞閲覧コーナーの設置

期間中は新聞閲覧コーナーを設置し、担
任が毎日教室に行き、子どもたちが自由に
読めるようにした。

自分の興味のあること、新聞記事の好き
な写真だけでも目を通せるようにと教室の
後ろに新聞設置コーナーを設けた。まず、
新聞を手を取ることを目的とした。

新聞閲覧コーナーには、定期購読の4紙
+2紙（毎日、朝日子ども新聞）の6紙を
並べた。しかし、子どもたちが手を取るの
は、子ども新聞の2紙と地元紙（神戸新聞）
が主だった。子どもたちの様子を観察して
みると、子ども新聞ですら芸能欄やマンガ
の記事だけを見ているようだった。神戸新
聞を手取る理由としては、家と同じだから
とか、見慣れているという理由からだっ
た。日経新聞は児童にとっては難しい内容
が多くなかなか手を取る児童は、見られな
かった。

3、実践の内容

（1）割合

（5年生算数科：12月、まとめ2月）

5年生の算数科の「割合」の授業で円グ
ラフ・帯グラフの学習をする。N I E活動
として、新聞記事の中から円グラフや帯グ

時間に来ていただくことにした。本校の6年生は総合の時間に「近い未来を生きるヒントを探して」と題して、近隣住民の方や校長先生などの講演、兵庫県に関わりのある偉人の話などを通して、近い未来を生きるヒントを見つける活動をしている。その1時間として、毎日新聞加古川通信部の高橋一隆記者に「死について～苦境でも希望を持って生きている人～」というテーマで講演を依頼した。

高橋記者は、広島被爆者団体連絡会議事務局長の近藤幸四郎さんについて話をした。記者は広島支局時代の取材を基に近藤さんを「12歳で原爆に遭い、平和運動に69年の生涯をささげた人」と紹介した。また、近藤さんの「あの時の経験があれば何でもできる。人間の生存本能を信じる。」という言葉を紹介し、子どもたちに今日よりも明日、明日よりも明後日と前向きに生きて欲しいと願いを熱心に語っていただいた。

子どもたちの感想

- ・私は最初講演の「死」という題名を聞いて怖いなと思いました。でも、すごいに変わりました。それは、近藤さんは私たちと同じ年に原爆で被爆したのに、すぐに爆心地の近くの所で人を助けたそうです。近藤さんは自分のことよりも他人のことを助けに行ってすごいと思いました。
- ・高橋さんに「不作為」という言葉を教えていただきました。「不作為」という言葉は私たちの言葉でいうと「見て見ぬふり」という言葉だそうです。ゴミが落ちていても「誰かが拾うだろう」という気にな

って、知らないふりをしてしまうことがあります。いけないこととわかっているのにしてしまいます。いつでもこの言葉を思い出して、正しい道を歩んでいきたいです。



毎日新聞 朝刊より（2013年1月24日）

4、終わりに

NIE活動の当初、子どもたちは新聞を手にとることはあまりしなかった。しかし、教師のちょっとしたヒントや簡単な取り組みを行うことで徐々に手にとる機会は多くなったと感じる。今年でNIE活動は2年目である。実践を行うにあたって強く思ったことは教師が授業で使えるような新聞記事を見つけようとする姿勢がとても大切であるということである。毎日、新聞に目を通し、教材との関連性を考えることである。思っていた以上に新聞記事には教材に使えるような材料はたくさんある。工夫一つでどんな教科にも使えるのである。